

くすのき だより

心でくむ健康と笑顔の樹

VOL.
31

2019年
11月発行



撮影場所／長野県小谷村鎌池／内山弘道

アルペン会との医療福祉連携 協定を締結しました

富山県済生会富山病院 院長 堀江 幸男

トピックス

- 心臓リハビリテーション室の改修
- ご案内 世界糖尿病デー
- 脳卒中合宿セミナーを終えて
- 市民公開講座
「後悔しない膝の治療の選び方」

- つなぐ入退院支援にむけて
(エントランスホールの改修とPFMの取組み)
- 「患者さんの声」の集計結果について
- 新任自己紹介
- 栄養ワンダー2019
- 済生会北信越ブロックソフトボール大会 優勝
- 無料低額診療のご案内



社会福祉法人 済生会支部
富山県済生会

富山県済生会富山病院
<http://www.saiseikai-toyama.jp/> hospital@saiseikai-toyama.jp

〒931-8533 富山市楠木33番地1
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122
地域医療連携室
TEL 076(437)1120 FAX 076(437)1131



アルペン会との医療福祉連携協定を締結しました

院長 堀江 幸男

当院と医療法人社団アルペン会および社会福祉法人アルペン会は、9月20日に医療福祉連携協定を締結しました。今後は、相互に有する医療および福祉機能を発揮し、患者さんの紹介および受入れに関する事、スタッフの質の向上に関する事、共同研究や施設および設備の共同利用に関する事などで、緊密に連携・協力し、質の高い医療および福祉の提供を行います。

当院が、富山市中心部の安住町から現在地(富山市楠木)へ新築移転したのは平成9年です。本年で22年が経過しました。その間、富山医療圏内の第二次救急医療の一翼を担う急性期病院として、また急性期脳卒中診療を担う基幹病院として、機能の充実と整備を図ってきました。平成19年からはSCU(脳卒中ケアユニット、脳卒中集中治療室)を附設する県内唯一の病院として、脳卒中ホットラインを介した24時間365日体制で患者さんの受け入れを開始し、脳血管内治療などの先進的治療の早期からの導入や急性期からの積極的なリハビリテーションの実施などに取り組んできました。

また急速な少子高齢化に伴う疾病構造の変化や要求される医療機能の変化に対応するため、急性期特化から新しい形のケアミックスへの転換を図ってきました。平成28年には急性期病床の一部を地域包括ケア病棟に転換し、平成29年には訪問看護ステーションを設置しました。さらに、平成31年4月25日付で富山県知事より「地域医療支援病院」の承認を受けました。地域で患者さんを支える“かかりつけ医”への支援を今後さらに充実していく予定です。

今回のアルペン会との協定締結の背景には、「医療機能の分化・連携を進め、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制を構築する」という国および県が推進している地域医療構想があります。この協定により医療福祉機能の異なる3施設が連携し、それぞれが有する専門性を十分発揮することにより、地域包括ケアシステムが掲げる「住み慣れた地域で」、「自分らしい暮らしを」、「最後まで続ける」ことに、少しでもお役に立ちたいと考えています。



心臓リハビリテーション室の改修

内科部長 大原 一将

令和元年8月、外来2階のくつろぎ広場を一部改修し、心臓リハビリテーション室が移転しました。近年おかげさまで通院リハビリを希望いただく患者さんは増加傾向にあり、平成30年度は延べ6,500名の患者さんが自転車エルゴメーターでの運動療法に参加されました。さらに多くの方に心臓リハビリテーションを知っていただくため、エルゴメーターの増設を要望していましたところ、この度移転し再スタートを切ることになりました。

新しい心臓リハビリテーション室は天井が高く天窓から光が差し込み明るく開放感があり、より快適に運動療法ができるようになりました。また横の空間が広がったことで心臓リハビリテーション指導士の眼が行きわたりやすくなり、患者さんへの指導もし易く、「明るくなった」「運動し易くなった」とのお声をいただいています。

今後も心臓リハビリテーションを通して心臓病の悪化を防ぎ、地域の皆様の健康寿命が延長されるようお役に立ちたいと考えております。皆様のご参加をお待ちしています。



申込不要・参加無料

令和元年

11月15日金

世界糖尿病デー

第1部 相談・体験コーナー

場所 当院1階エントランスホール

時間 9:00~11:00

第2部 市民公開講座

場所 当院2階研修ホール

時間 11:30~12:30

座長 済生会富山病院内科部長 伊藤みか先生

「下肢血流不全に対する最先端治療
一下肢切断を防ぐために」

講師 済生会富山病院内科部長 茶谷健一先生



脳卒中合宿セミナーを終えて

SCU病棟 大村 未春

本年度のセミナーは、「脳卒中のチーム医療と連携～さらなるステップアップを目指して～」をテーマに開催いたしました。全国各地から脳卒中診療に情熱をもって取り組んでいる医療スタッフを迎え、職種や病院の枠を超えて熱い議論が繰り広げられました。

特別講演の先生方の発表からは、全国でも先進したチーム医療と連携について学ぶことができ、とても充実した一日が過ごせたように思います。

今回のセミナーを参考にして、質の高い多職種チーム作りや、他病院との連携を深め、さらに充実した医療や看護の提供に繋げていただけることを願ってやみません。



市民公開講座

「後悔しない膝の治療の選び方」

整形外科主任部長・人工関節センター長 藤井 秀人

2013年から年に1回当院の研修ホールや市街地中心部で市民公開講座を行ってまいりました。今年は7月13日に当院の研修ホールで開催しました。第1部では、私から「高齢者の膝の痛みーなぜ痛くなるのか、手術をしない治療から、内視鏡手術、骨切り術、人工関節置換術までー」というタイトルで高齢者の膝痛の最も多い原因である変形性膝関節症の病状から治療までをお話しし、第2部では、「チーム医療で患者さんを支える当院の人工関節センターについて」というタイトルで看護師、リハビリ担当、医事課入院係、ソーシャルワーカーから入院前の準備、入院生活、手術後のリハビリ、費用、保険の利用方法などを説明しました。今回は初めて土曜日に開催したためか例年に比べて参加者は少なめでしたが、それでも30名ほどの方に

集まっていただきました。今後も医療の専門職として一般の方々に正しい知識を提供し、少しでも多くの患者さんのQOL(生活の質)が改善し、最近話題のロコモティブシンドロームを防ぐ活動を続けていきたいと思います。



つなぐ入退院支援にむけて (エントランスホールの改修とPFMの取組み)

入退院支援室 日南田 千賀子

近年、病院ではPFM（Patient Flow Management）という、予定入院患者さんの情報を入院前から把握し、手術や検査・入院生活の説明、服用されている薬の確認・管理、退院後の生活のことを含めて支援し、患者さんが円滑に入院治療を受けられて早期退院ができるようにする取り組みが行われています。

当院も、その取り組みを強化するために、医療福祉支援センターを一元化し、9月末に改修した外来エントランスホールで業務を行うことにいたしました。

医療福祉支援センターには入退院支援室・地域医療連携室・医療福祉相談室の機能があります。

入退院支援室では、入院が決まった患者さんとそのご家族に入院に関する説明を行い、少しでも安心して入院生活が送れるよう支援します。また入院前から退院後の生活を見据え身体状況や生活状況をお聞きし、退院後必要になるかもしれない支援が円滑に進むように、看護師や薬剤師・管理栄養士や事務職員などの多職種が情報を共有し、患者さんに合った支援をしています。

退院後にも治療が必要な患者さんには、地域医療連携室が窓口となって、回復期病院や開業医など地域の医療機関と連携して診療が引き継がれるようにしています。

医療福祉相談室では、無料低額診療事業や医療制度の紹介、診療費の支払いの相談などを行っています。

ご相談を受けるスペースには、患者さんのプライバシーに配慮した仕切りなどを設置したところ、「明るい雰囲気ですぐ相談しやすくなった」といったお声もいただいています。

患者さんとお家族が入院生活や退院後の生活をイメージすることができ、住み慣れた地域で安心して満足できる治療を受けられるよう、当院の使命である「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」に取り組んでいます。



「患者さんの声」の 集計結果について

1 概要

●意見内容

テ　ー　マ	主な内容	件数
設備・サービス	トイレ、テレビ、照明などへの意見	39
感謝・激励など	職員への感謝、お褒め、激励など	20
職員の接遇など	職員の態度、対応などへの意見	12
診　療	医師の説明、診療などへの意見	4
待　ち　時　間	待ち時間短縮への意見	1
給　食	食事内容などへの意見	4
そ　の　他	除草管理などへの意見	8
	合　計	88

●意見箱設置場所 1階ロビー、2階くつろぎ広場 及び各病棟のフロアー 計7カ所

●回収期間 平成30年4月～平成31年3月

●結果の措置

病院への苦情や改善に向けたご意見、職員への感謝の言葉など、いろいろなご意見・ご要望等をいただきました。

今後とも、患者さんからのご意見に、真摯に対応してまいりますので、お気づきの点がございましたら、「患者さんの声」にご意見をお寄せください。

2 「患者さんの声」及びご意見に対する当院の対応について(主なもの)

患者さんの声	当院の考え、対応
設備・サービスに関するご意見 2階西側のトイレの便座裏側などが汚れていた。以前にも病棟トイレで同じ事があった。しっかり管理して欲しい。	トイレの清掃につきましては、毎日実施しておりますが、今回このような事実がありましたことにつきまして、誠に申し訳ありませんでした。直ちに清掃責任者に報告し、スタッフ全員に周知いたしました。今後このようなことがないように注意してまいります。
テレビが古く、日中は見えにくい。 トイレのペーパーホルダーに不具合があり取り出しにくい。 看護師が運搬に使用するワゴンの音がうるさい。	テレビ及びペーパーホルダーについては、状態を確認し、順次更新していくこととしております。ワゴンについては、キャスターに油をさし、音が出ないように対応しました。
リハビリの時間が全くわからない。 午前なのか、午後なのか全然伝わってこない。	リハビリ当日の患者さんの数により予定が前後するため、事前に時間をお知らせすることが困難な状況にあります。今後は時間が決定次第、随時連絡できるようなシステムを検討いたしますが、それまでは事前に希望をお聞きし、優先的に実施できるようにしてまいります。

会計時に患者を名前で呼び出すのは、個人情報の流出になるので番号で呼んで欲しい。	患者さんに対するサービス向上の為、今年度8月の電子カルテ更新に伴い、会計番号表示モニターが導入されましたので、診療受付票の番号が表示されましたら案内にしたがって会計をお済ませください。
廊下の照明が明るくて寝にくい。 待合廊下や階段の照明が暗く危ない。 ベッドの読書用の照明が暗い。 足元灯があればよい。	今年度9月に施設照明のLED化を行いました。ご指摘いただいた点の改善も含め、今後も検討してまいります。
職員の接遇などに関するご意見 看護師の対応の仕方にかかなり違いがある。 患者によって態度をあまり変えないこと、不機嫌な表情を見せないこと、悪口を言い合ったりしないことなど、社会教育に心がけていただきたい。	言葉遣いや接遇について、リーダー会、病棟会で問題提起を行った結果、病棟接遇目標を決め、毎朝礼時に職員全員で呼称することとしました。 今後もこれを継続し、接遇の改善に努めてまいります。
患者にやさしい言葉をかけて欲しい。 家族の気持ちに寄り添った声かけが欲しい。 患者や面会の家族に挨拶しない。 職員の声が小さく聞こえない。	職員の対応・接遇について、多くのご指摘をいただき、ありがとうございました。 日頃から、患者さんやご家族の立場を考えた配慮を心がけるよう指導していますが、まだまだ十分ではありません。 引き続き指導してまいります。
CT検査時に担当者に質問したところ、強い口調で対応され驚いた。患者に対する言葉とは思えない。	担当者の口調が強く、不快な思いをされたことについて、心よりお詫びいたします。病院では、接遇研修会などを行い、接遇の改善に努めておりますが、実務に活かせない結果となり残念に思っております。担当した部署では今後、職員間で言葉遣いや態度などについて注意し合うとともに、毎月のミーティングで報告し、継続的に接遇の改善に努めていくこととしております。
診療に関するご意見 入院している患者の孫にあたる者であるが、30分以上酸素の管が外れているのに誰も対応してくれなかった。大丈夫か。	酸素を装着している患者さんに対しては、看護師が2～3時間ごとに病室に行き、装着を確認することとしておりますが、患者さんの中には、ご自分で装置をはずしてしまわれる場合もあります。 このため、病院としてもより密に患者さんの状態を確認するよう努めてまいります。
給食に関するご意見 献立表の記載に読めない漢字が多く使われており、わかりにくい。 (例) 鰯(かれい) 鱈(さわら)、鱸(すずき)、青梗菜(ちんげんさい)など	献立表については、文字数に制限があるため、漢字で記載していました。今後は、一般的に読みにくいと考えられる漢字は使用しないようにして、カタカナや平仮名で記載するよういたします。
その他のご意見 外来駐車場の植込みの雑草が伸び、自動車のドア開閉時に挟まり、いい気持ちがしない。 定期的な除草作業が必要である。	当院では年2回程度、ボランティア等による定期的な除草を行っております。ご指摘のあった月も除草を行っていましたが、対応が遅れ申し訳ありませんでした。今後は、駐車場を含む敷地内の雑草の状況をよく見て、速やかに除草するよう努めてまいります。

NEW FACE PROFILE

新任自己紹介

①氏名 ②所属(配属) ③抱負・自己PR等

DOCTOR

医局



ヨシ オ ユキ マツ
①芳尾幸松

②内科部長
③高岡から富山にもどってきました。富山の地域医療の為にがんばりたいと思いますのでよろしくお願いします。



マル ヤマ クニ タカ
①丸山邦隆

②脳神経外科医員
③脳神経外科の丸山です。脳卒中の診療を中心に粉砕身頑張ります。



MEDICAL TECHNICIAN

医療
技術員



タカイワ ア キ コ
①高岩亜輝子

②言語聴覚士
③専門は認知機能障害、高次脳機能障害です。日常生活で困っていること、リハビリで気になることをいっしょに考えていきましょう。



スズ キ ケン スケ
①鈴木健介

②薬剤師
③私はこれまで、埼玉の病院に勤めていました。早く富山での生活に慣れ、地域の医療に貢献していきたいと思っています。



カワ ギシ ア キ
①川岸彩季

②歯科衛生士
③今年の春に富山へ引っ越して参りました。少しでも早く、地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。



NURSE

看護部



- イナダ ヒロコ
①稲田浩子
②看護師(5階病棟)
③集中ケア認定看護師の稲田です。約12年間、大阪で集中治療領域看護ケアを実践してきました。よろしくお願いします。



- ミナミ シズカ
①南下夏美
②看護師(5階病棟)
③総合病院での勤務は久しぶりで不安や緊張の方が強いですが、丁寧に看護を行っていききたいと思っています。



- ヤマモト ミキ
①山本美幸
②看護師(7階病棟)
③この度、夫の転勤で富山に参りました。皆様どうぞよろしくお願いします。



- マツバラ ヒトミ
①松原仁美
②看護師(中央処置室)
③長らく外来勤務をしてきました。精一杯力を尽くしたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。



- カジマル ユミコ
①梶丸由美子
②看護師(泌尿器科外来)
③ブランクがあり、わからないことも多いですが、日々頑張りたいです。よろしくお願いします。



- サエキ クミコ
①佐伯久美子
②看護助手(5階病棟)
③いつも笑顔で早くお役に立てるよう、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



- ナリイタ ヒトミ
①成田ひとみ
②看護助手(6階病棟)
③入院生活で不安のある患者さんと、ご家族に少しでも寄り添えるよう努めたいと思います。よろしくお願いします。

CLERK

事務部



- マエダ ノブアキ
①前田伸明
②事務部次長 兼 経営企画室長
③これまでに培った経験を活かし、一日でも早く戦力となるよう頑張っていきます。



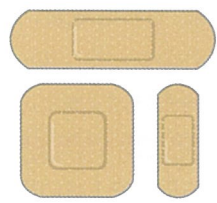
- ゴト シゲオ
①後藤俊英
②用度課 施設管理係職員
③数十年振りの新人として、異業種からの参加となります。緊張感を持つと共に、新たな気持ちで頑張ります。



- フジイ ミユキ
①藤井美由希
②リハビリテーション科事務員
③微力ながらみなさんのお仕事の助けになれるよう頑張ります。ご指導のほどよろしくお願いいたします。



- ニシジマ ユリコ
①西島由里子
②健康管理センター事務員
③1日も早く仕事を覚えたいと思います。趣味はヨガ、エアロ、マラソンです。笑顔で一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。



栄養ワンダー2019

栄養管理科 小林 朋子

『栄養の日』を皆さんご存じですか？ 日本栄養士会では平成28年に8月4日は『栄養の日』、8月1日～7日を『栄養週間』と制定しました。この時期には全国の管理栄養士・栄養士がおおよそ1300カ所で栄養をたのしむイベント「栄養ワンダー」を開催しています。当院でも8月9日(金)にエントランスホールにて開催し、患者さんやそのご家族など、60名以上の参加がありました。管理栄養士による無料栄養相談コーナーでは、開始前から行列ができる盛況ぶりでした。ご自身だけでなく、ご家族の食生活の悩みも寄せられ、話を終えるころには皆さんの表情が少し明るくなったように思います。また、掲示コーナーでは「栄養力診断」といった栄養に関するクイズや管理栄養士のお仕事紹介、健康に役立つ情報やレシピを載せ、たく

さんの方に「栄養」を見て・聞いて・食べて、たのしんでいただきました。

8月4日は8(エイト)と4(よん)で「えいよう」の日。ぜひ覚えてくださいね。



済生会北信越ブロックソフトボール大会 優勝

医事課 杉瀬 啓

7月7日、「第40回済生会北信越ブロックソフトボール大会」が金沢市専光寺ソフトボール場で開催されました。予選ブロックでは強豪の福井県病院を破り、優勝決定戦へ勝ち上がりました。

優勝決定戦では、序盤で5点を奪われリードされていましたが、終盤に高橋(放射線技術科)の満塁ホームランを皮切りに打線が繋がり逆転、さらに瀬島(リハビリテーション科)のツーランホームランで追加点を挙げました。また、池下(医事課)、関岡(用度課)の両投手が、粘る金沢病院の反撃を1点に抑えた結果、11対6で見事優勝しました。6年ぶり2回目の北信越ブロック優勝を成し遂げ、全国済生会親善ソフトボール

大会への出場権を獲得しました。

10月13日に栃木県宇都宮市の道場宿緑地ソフトボール場にて「第40回全国済生会親善ソフトボール大会」が開催される予定でしたが、台風19号の影響の為、残念ながら中止となりました。



済生会富山病院では 無料・低額診療事業を 実施しています

無料・低額診療事業とは、医療費を

減額 免除

できる制度です。

生計困難な方が経済的理由により、
必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、
無料・低額な料金で治療を受けていただく制度です。



例えば

このような時に
ご相談ください

- 病気や障害、失業などで収入がなくなり、医療費の支払いが困難な方
- 「医療費が払えない」と、治療を受けずに悩んでいる方

利用方法

利用にあたっては、一定の条件がありますので、
まずは患者相談窓口へご相談ください。
お問い合わせはお電話でもお受けいたします。

相談窓口

患者相談窓口 (1階エントランスホール4番)
TEL 076-437-1111(代)
月～金 8:30～17:30

毎月第2火曜日に無料・低額診療
相談会を実施しています

場 所：患者相談窓口
時 間：9:00～12:00

相談は
無料です



ミッション(使命) 患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

ビジョン(将来像)

- 地域住民の健康寿命の延伸
- 健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- 働きがいのある職場環境の形成

バリュー(価値観)

- 医療の質向上をめざすこと
- 地域に貢献すること
- 自己研鑽と育成に努めること
- 健全経営をめざすこと

行動指針 どのように考え、どのように行動するかの基本となる方針

- 私たちは 患者さんの立場にたって行動します
- 私たちは 患者さんの権利を尊重します
- 私たちは 信頼される医療を提供します
- 私たちは 生活困窮者を支援します
- 私たちは 働きやすさとやりがいのある職場をめざします
- 私たちは 同心協力の心を大切にします
- 私たちは 法令・規則を遵守します
- 私たちは 自己研鑽に努めます
- 私たちは 次代を担う医療人を育てます
- 私たちは 安定した事業の運営をめざします



患者さんの権利と責務

私たちは、医療行為が患者さんと医療者との信頼関係の上に成り立つものであり、医療は患者さん中心であることを深く認識して、ここに「患者さんの権利と責務」を定めます。

患者さんの権利

- 個人としてその人格を尊重される権利
- 質の高い医療を公平に受ける権利
- 十分な情報を知り、説明を受ける権利
- 選択の自由と自己決定する権利
- プライバシーが守られる権利

患者さんの責務

- 自身の情報を正しく提供する責務
- 診療行為に協力する責務
- 療養に専念する責務
- マナーや規則を守る責務
- 医療費を支払う責務



済生会富山病院報
くすのきだより

発行者 富山県済生会富山病院
院長 堀江 幸男

【編集委員会】 風 間 泰 蔵 加 藤 智 代 松 倉 裕 喜 久 保 道 也
堀 田 裕 子 西 川 和 良 神 保 江 梨 香 千 代 理 絵 佐 々 木 正 詞
前 田 伸 明 吉 村 英 士 高 柳 敦 子 牧 田 航 平 本 谷 あ て ね